

第30回HL7セミナーのご案内(品川、2月20日)

- 日時: 平成21年2月20日(金)15:00 から17:30 まで(受付開始 14:30～)
- 会場: [東京コンファレンスセンター品川5F](http://www.tokyo-cc.co.jp/access_s.html) http://www.tokyo-cc.co.jp/access_s.html
JR品川駅 港南口(東口)より徒歩2分 アレア品川内 Tel:03-6717-7010
- 主催: 日本HL7協会
- 司会: 情報教育グループリーダー 高坂 定
プログラムや講師などに変更がある場合がございますので予めご容赦ください。

■ テーマ:保健医療福祉システムの標準化の法制化と方向性

医療に対するニーズの高度化や医療の質に対する認識の高まりなどを背景として、病院などにおける医療の内容など質の向上を求める声が高まっています。また、医療需要の増大と医学・医術の進歩に伴う情報量の増加により、これを的確かつ効率的に処理する必要性が増大しており、他方、情報処理技術及び通信技術の進歩は著しく、この技術を保健医療福祉の分野に導入し、保健医療機関間相互の連携の強化及び迅速化を図るとともに、国民への情報提供に資する情報化の整備と標準化の重要性が近年増してきています。世界的にも医薬情報システムの導入をはじめとして多くの情報システムが構築されてきています。特に1998年から国際標準化機構(ISO/TC215 Health Informatics)においても標準化が進められています。今回のセミナーでは、日米の医療保健福祉システムの標準化と法制化の方向性についてご講演をしていただきます。

1. ごあいさつ「セミナー開催に当たって」 15:00～
技術委員長 浜松医科大学教授 木村 通男先生
2. 米国における保健医療福祉システムの標準化の法制化と方向性 15:10～
HL7協会会長 the Duke University Medical Center教授
W. Edward Hammond 先生
【概要】米国におけるAHIC (American Health Information Community) 2、ONC(the Office of National Coordinator)、HITSP(Healthcare Information Technology Standards Panel)における医療保健福祉システムの標準化と法制化と方向性、CCHIT(Certification Commission for Healthcare Information Technology)とNHIN (Nationwide Health Information Network)の活動についてご講演をしていただきます。
3. 保健医療情報システムの標準化の方向性 ～行政の立場から～ 16:10～
厚生労働省 医政局 研究開発振興課 医療機器・情報室 室長補佐
秋山 祐治先生
【概要】行政の立場から日本の保健医療福祉システムの標準化の方向性についてご講演を頂きます。
4. 日本の保健医療福祉システムの標準化の方向性と行政との関係 16:50～
独立行政法人 放射線医学研究所 重粒子医科学センター
安藤 裕先生
【概要】長く医用画像システムに携わり標準化を進めてきた経験と、HELICS会長としての立場から日本の保健医療福祉システムの標準化の方向性と行政との関係についてご講演を頂きます。

- 参加費: 日本HL7協会会員は無料 一般5,000円(資料代、当日会場で申し受けます)

■ 申込み方法:

[受付フォーム](#)から氏名、所属/会社名、所在地、会員または非会員(会員は会員番号記入)、e-mail アドレス、電話/FAX番号など必要事項をご入力の上

2月14日までにお申し込み下さい。定員(90名)になり次第締め切らせて頂きます。

■ **お問合せ先／事務局：**

東京都港区虎ノ門1丁目19-9(虎の門TBLビル6F)〒105-0001
保健医療福祉情報システム工業会内 日本HL7協会事務局
TEL(03)3506-8010 FAX(03)3506-8070 担当 [藤谷／蛭名](#)